

■長野地方本部 長野支部座談会（二日目）

長野支部では、年末手当要求満額獲得に向けて座談会を開催しています。

二日目となる11月5日は20名の仲間が参加し、様々意見を出し合いました。

◆組合員の声

- ・JR西日本の1.5ヶ月が影響するのではないか。
- ・国鉄時代も赤字だったが、ボーナスはちゃんと出た。
- ・職場では、無所属の社員が「ボーナスが出るのか」と心配している。
- ・今まで過去最高の「増収増益」のときもボーナスに反映されなかった。昨年度並みに出すべきだ！
- ・今儲かっている企業と比べて欲しくない。社員一人ひとりが会社を支えてきた。
- ・設備投資をし過ぎではないか。
- ・社員一人ひとりの業務量が多い。報われていない。
- ・経営陣が労働組合を見下している感じがする。真摯に向き合って欲しい。
- ・第二の国鉄分割民営化みたいだ。
- ・社友会はあきらめムード、働いている自負がないのか。
- ・世論的に厳しい風潮がある。他企業の友達との会話でもそうだ。しかし、私たちは基本給が低い。他企業の友達はボーナスが低くても月給が良い。
- ・JR東日本は、ボーナスがしっかり出て他企業の年収に追い付いている。
- ・低額回答は、社員の生活が苦しくなる。
- ・好調な時は、理由を付けて実績に合わせたボーナスが出なかった。なんなんだ！
- ・安定支給のために、これまでボーナスを抑えてきたのではないか。
- ・夏のボーナスが低額回答、年末手当満額回答でも足りないくらいだ！

年末手当交渉は山場を迎えています！

届け！職場の声！